

経営比較分析表（令和6年度決算）

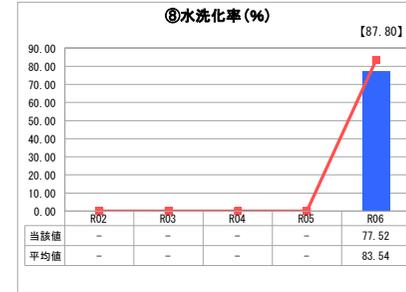
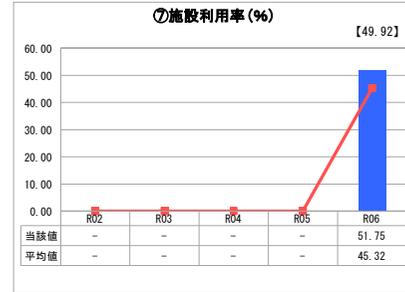
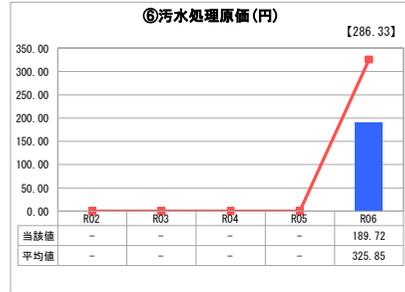
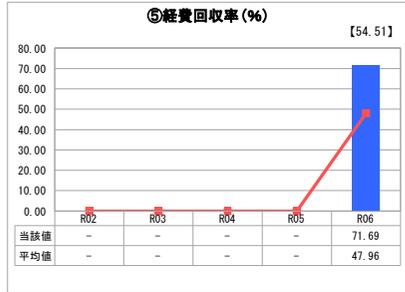
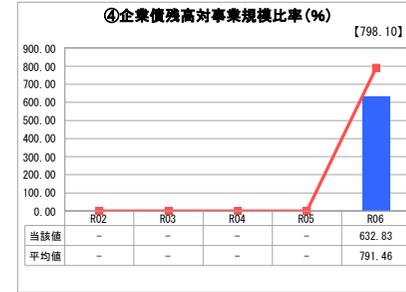
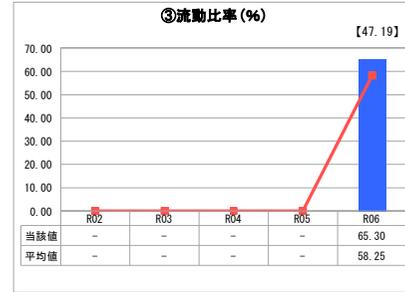
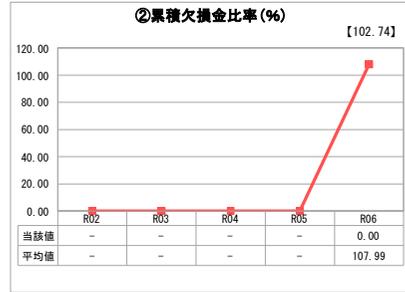
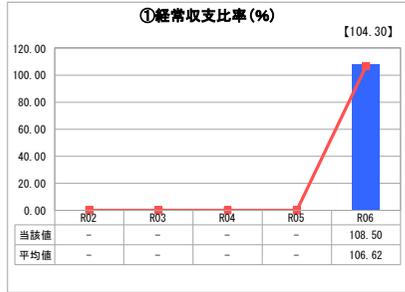
埼玉県 秩父市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	74.31	3.93	100.00	3,520

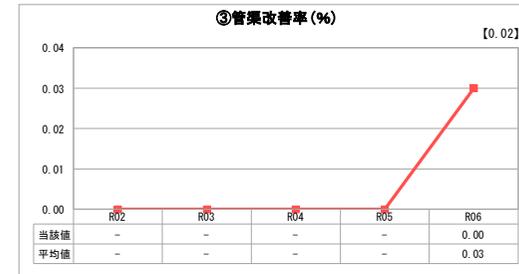
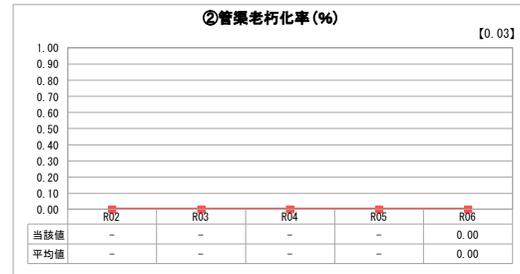
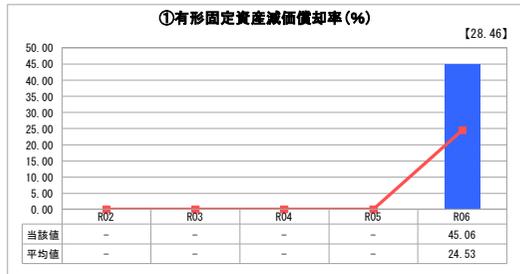
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
57,212	577.83	99.01
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,233	1.37	1,629.93

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、⑤経費回収率、⑥汚水処理原価
 経常収支比率は100%を超えているが、一般会計からの繰入金に依存している。今後は処理施設の統廃合を含めた維持管理費の削減及び使用料金改定が求められる。
 ②累積欠損金比率
 累積欠損金は発生していない。
 ③流動比率
 企業債の償還が進む中であるが、投資規模の適正化と新たに資本費平準化債を活用し、流動負債の削減に努める。
 ④企業債残高対事業規模比率
 今後は施設の統廃合に伴う企業債の借入により比率の上昇が見込まれるため、使用料金の見直し等の収益拡大に繋がる対策を講じる必要がある。
 ⑦施設利用率
 市内6施設の中で利用率に差があるため、処理施設の統廃合により適切な施設規模の実現を図る必要がある。
 ⑧水洗化率
 類似団体及び全国平均とともに下回っているため、未接続者への個別訪問等により接続促進を強化する必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
 令和6年度から地方公営企業法を適用した際に資産の老朽化度を適切に把握するため、資産取得時の取得価格を賃借対照表に計上するとともに、資産取得時から減価償却が行われてきたものとして計算した。よって、類似団体及び全国平均を大きく上回っている。今後は耐用年数を経過する資産が増加するため、計画的な老朽化対策が必要である。
 ②管渠老朽化率、③管渠改善率
 本市の処理施設は平成9年度から供用開始していることから、耐用年数(50年)は経過していないが、将来の更新に備えた計画的な調査及び更新を検討する。

全体総括

当事業は一般会計からの繰入金に依存しており、経営の効率性が高いといえない状況である。今後も使用者減少による使用料収益の減少が見込まれ、厳しい財政状況が続くことが予想される。この財政状況を改善するため、処理施設の統廃合を含めた維持管理費の削減及び使用料金の見直し求められる。
 当市の農業集落排水処理施設は農業農村地域の生活環境を保全する重要な役割を担っているため、より健全で安定した事業運営に努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。